

日本の消費の現状と今後の展望

～地方創生・流通・インバウンド～

サービスエンターテインメント班

学生：長谷川文哉 八東あき 白井ほのか 上岡萌絵
佐保尚寿 高橋海斗 平山 佳苗
伊東真由 船井玲伽 田島宏樹

修了生：新部均・服部 吉晶・追分 健爾

問題意識

1. 消費において現在の問題点は何か？
2. 30年後どのような状況になっていると予想されるか？
3. どのように若者が活動していけば幸せな未来が築けるか？

研究テーマの設定と目的

～地方、流通、インバウンドにおける消費の活性化～

- 地方創生

少子高齢化の中での消費の現状

- 流通

地方にあるコンビニ・ドラッグストア消費の現状とこれからのあり方

- インバウンド

地方のグローバル化している中での消費行動

地方創生グループ

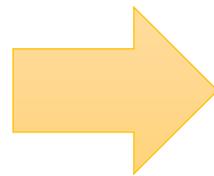
- 高齢者の消費手段

- インターネット難民
- 高齢者の購買行動の場や外出の減少
- 大型ショッピングモール・有名チェーン店の進出
- 地域に密着する昔ながらの商店の閉鎖

- 高齢者の労働

- 高齢者を雇用する企業が未だに少ない
- 65歳定年退職導入が始まって...

65歳定年退職導入



若い世代の雇用の形態

- 人員の削減
- 給与の変化

研究課題

- 消費を促す労働ができ、
自立可能で健康を維持した高齢者の出現
- 通販に出来る限り依存せず、
その他の消費活動の方法についての模索
- 「これまで」から、「これから」を考える価値観へ

流通消費班

流通の現状分析

- 少子高齢化により、地域の人とコミュニケーションをとる場所が減少している
- 中心市街地は空洞化している
- 通販による実店舗の売り上げ低下

今後の予想

- 通販が主流になり、実店舗が今よりも減少して買い物難民が増え、高齢者の消費と結びつかなくなる。

1:スマートフォンが使いこなせる高齢者はまだ多くないと考えた為、実店舗はまだまだ需要がある。

2:コンビニエンスストアは若者の生活の一部になっている為、実店舗が減少すると不便。

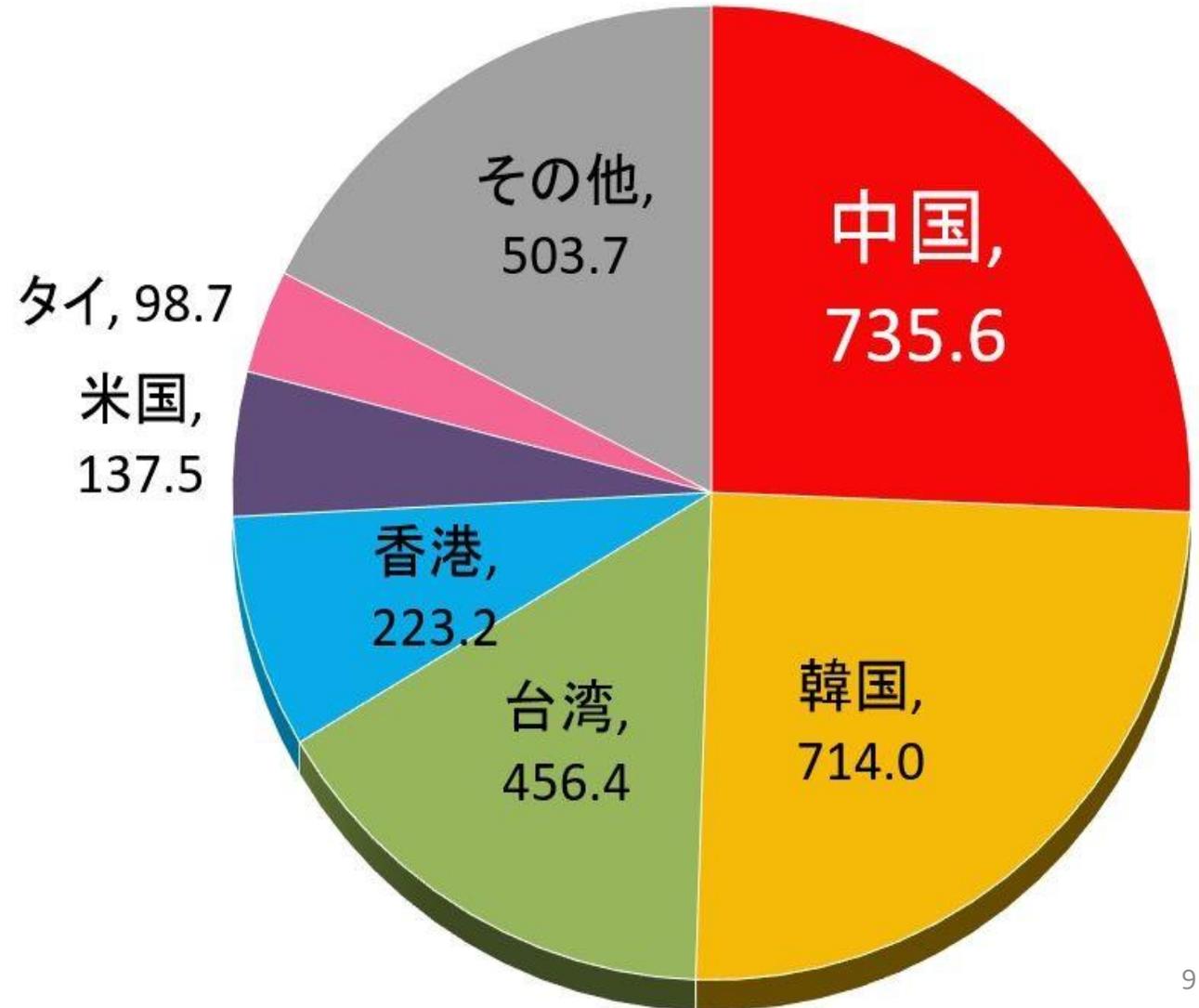
理想・研究課題

- 高齢化が進んでいる地域は、宅配サービス、日用品の品揃えを充実させて、買い物弱者にも優しいコンビニへ
- ドラッグストアの強みでもある”医療や健康に特化した適切なサービス”を特定の地域住民に提供する
- AIやネット販売との差別化を図る為の取り組みについて調べる

インバウンド班

2017年通年 訪日外国人観光客
国別内訳 [単位:万人]

アジア圏の観光客が
圧倒的！



今回のテーマ: 地方のグローバル化

<現状>

アニメ
マンガ
和食

今のままでも
満足している。

- ・言語の問題
- ・宿泊施設
- ・交通インフラ

都内と地方の外国人への
対応レベルが違うのかも？

<今後の予想>

問題点

- ・言語の問題
- ・宿泊施設
- ・交通インフラ



このままでは、
他国に魅力が劣ってしまい
インバウンド戦略失敗？

グローバル

グローバル

+

ローカル

国と国との隔たりを小さくすること

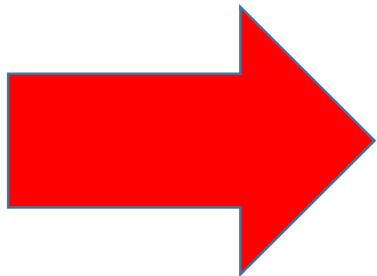
日本の地方特有のモノや文化

「地方のグローバル化を進めるために」

- 標識をグローバル化する
- グローバル人材を育成する
- 外国人向けの旅行プランを立てていく

<理想的な未来>

- 様々な言語に対応できるようにする
- インフラ整備を行う(会議なども含む)
- 旅行ツアーの改善
- 地方のPR
- 観光開発、発見



より多くの外国人観光客を呼び込む！

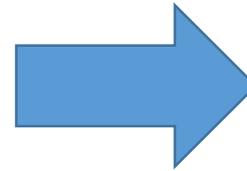
共通問題

- 地方でもネットスーパーを利用できる⇒インターネット難民やスマホを使えない高齢者は買い物難民になっていく。
- 日本の高齢者とモノ・コトを求めて訪日する外国人⇒ドラッグストアの需要などに繋がるか？
- 地方の過疎化⇒高齢者増加で外国人労働者が入らざる得ない。その中で流通はどうなっていくのか？
- 地方の過疎化⇒魅力的な観光地として開発すれば訪日外国人が増えて地域が活性化するのでは？

など

俺たちが何とかしなければ！！

2050年には65歳以上の高齢化が53.5%へ！！



この様な社会になって行く前に若者が何をしていかなければならないのか。

フィールドワークについて

- 高齢者が利用するデイサービス、介護施設で
労働力として外国人労働者を受け入れてる施設
- 高齢者を元気にする人気のカジノデイサービス ラスベガス
(関東圏内)も検討中
- フレディレック・ウォッシュサロン 東京への視察へ
- ファミリーマートとコインランドリーが併設されているFamima
Laundryへ視察へ



年間計画

- 春学期

文献調査

- 夏休み

フィールドワーク調査

- 秋学期

フィールドワーク及び文献調査の続き

論文執筆

参考文献

- 寺島実郎「日本の経済の構造分析ジェロントロジー(高齢化社会工学)への視界」 多摩大学寺島実郎監修リレー講座、2018年春学期・第5回講義資料
 - 寺島実郎『新・観光立国論モノづくり国家を超えて』 2015年
 - 寺島実郎『シルバー・デモクラシー戦後世代の覚悟と責任』 2017年
- 依光 正哲『日本の移民政策を考える 人口減少の社会の課題』
明石書店 2005年
- 藤波 匠『地方都市再生論 暮らし続ける為に』日本経済新聞出版社2010年
- アンドリュー・スコット、リンダ・グラットン『LIFE SHIFT 100年時代の人生の戦略』 東洋経済新聞社 2016年
- 吉田博詞『【保存版】訪日外国人 2017年は2,869万人。国別解説＋過去15年推移データ付』
<https://chibra.co.jp/taiken/jnto-2017year-repo/>最終閲覧日6月15日

参考文献

流通

- 戦略分析ケースブックvol.3 著:沼上 幹＋一橋MBA戦略ワークショップ

出典 日本チェーンドラッグストア協会「日本のドラッグストア実態調査」

引用元URL・<https://agent.m3career.com/contents/knowhow/industry-research-drugstores> 最終閲覧日5月29日

- ファミリーマートが展開するコインランドリー「Famima Laundry」誕生

http://www.family.co.jp/company/news_releases/2018/20180330_02.html

最終閲覧日6月13日

- 人々がつながるショッピングセンターの新しいかたち

http://www.daiwahouse.com/sustainable/sustainable_journey/smartecotowns/005/

最終閲覧日5月29日

- 著者:笠井清志『コンビニの仕組み』 同文館2007年.10
- 著者:加藤直美『コンビニと日本人』 祥伝社2012年.12
- 著者:満園 勇『商店街はいま必要なのか』「日本型流通の」近現代史 講談社現代新書2015年.7/16
- 編著:岩永忠康・佐々木幸『流通と消費者』 慶応義塾大学出版株式会社2008年.4/30
- 著者:鈴木安昭『新・流通と商業』 有斐閣2016年.12/05
- 中小企業庁 中小企業・小規模事業者が直面する経済・社会構造の変化 第4節

http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/H26/h26/html/b2_2_1_4.html

最終閲覧日5月30日